

【令和6年度使用教科用図書採択に係る 第2回選定委員会】

事務局 ただいまより、令和6年度使用教科用図書採択のための第2回選定委員会を開催いたします。本日の選定委員会の進行を努めます。よろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、選定委員会委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 【挨拶】

事務局 それでは、本日の資料及び委員会の流れについて事務局より説明させていただきます。まず資料をご確認ください。

- (1) 第2回選定委員会 次第
- (2) 第2回選定委員会 会場図
- (3) 令和6年度使用教科用図書 採択事務日程
- (4) 調査報告書（小学校）
- (5) 調査員とりまとめ会記録（小学校）
- (6) 令和6年度使用教科用図書選定資料（大阪府教育委員会）
- (7) 意見交流会記録まとめ
- (8) 市民からの意見書まとめ（6月19日現在）

教科書見本も準備しておりますので、必要に応じてご覧いただければと思います。

それでは、本日の選定委員会について説明させていただきます。

事務局 本日は、教科書採択にあたり、調査員から調査報告を受ける会でございます。より専門的な調査研究を行うため、5月12日から小学校教員の調査員により調査研究活動を実施し、本日お手元でございます報告書を提出いただいております。

選定委員の皆様は、この報告書ならびに本日の調査員の報告をもとに、内容をご検討いただき、6月26日（月）の第3回選定委員会にて協議いただきます。事務局担当指導主事の方で作成します答申書の原案と合わせて協議いただきます。その協議結果等をふまえ、答申書を加筆修正の後、7月3日（月）第4回選定委員会にて確認、修正の後、教育委員会へ答申する運びとなります。

本日は、なにぶん限られた時間での報告でもありますので、答申までの間に、各委員様が教科書センター及び拠点校である小学校、図書館等の見本本などを活用いただくなど、十分に検討いただきたいと思っております。

なお、本日は、報告及び質疑応答を含め各種目10分程度の時間をとっております。始め5分程度調査員からの報告があり、残り5分程度が質疑応答となっております。この報告書を初めて目にした段階で十分なやりとりは難しいかと思いますが、ぜひとも様々な視点からご質問いただき、協議の材料にさせていただけたらと考えます。なお、調査員が即答できない質問については、持ち帰り、次回の選定委員会で担当指導主事より回答することいたしますのでよろしくお願いいたします。

以上でございますが、何かご質問はございますか。それでは、報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

【国語】

国語調査員 国語の調査結果について報告いたします。東京書籍、教育出版、光村図書出版の3社は、いずれも随所に工夫がされており、それぞれに良さがありました。中でも各社において特徴的な項目についてお伝えいたします。

まずは項目1「目標・内容の取扱い」です。東京書籍では、「言葉の力」がキーワードとなっており、全ての単元で身につけるべき資質・能力が「言葉の力」として明示されています。また、教科書の巻頭では、一年間で学習する「言葉の力」が一覧で確認できるようになっています。東京書籍3年上 P6をご覧ください。一年間で獲得すべき力がロードマップとして提示されています。また、同じ巻のP165～166をご覧ください。そこには、前の学年と当該学年の「言葉の力」が並べて書かれており、系統性も見通せるように作られています。

次に項目2「人権の取扱い」です。教育出版では、見やすさに配慮したつくりとなっています。各学年の巻頭には当該学年で学ぶことが一覧となって掲載されていますが、学習領域が色別に示されています。教育出版3年上 P4～6をご覧ください。「話す・聞く」領域は黄色、「書く」領域は青色、「読む」領域は赤色など領域別にテーマカラーが設定され、それが全教科書を通して統一されています。例えば読む領域でしたら、同じ教科書のP45、書く領域でしたらP62のように色で判断できるようになっています。また、紙面のレイアウトもゆったりと配置され、見やすく工夫されています。

次に項目4「組織・配列」に移ります。東京書籍では、全単元において初めの見開き2ページに「学習の流れ」が掲載されています。東京書籍3年下 P38をご覧ください。「学習の流れ」を見ることで、どのような手順で単元の内容を学習するかが捉えやすくなっています。この「学習の流れ」のナビゲートが全学年全単元にくまなく配置されているため、子どもは学習の見通しを持つことができ、指導者も指導すべき事項がイメージしやすいつくりとなっています。

最後に項目5「学び方の工夫」です。光村図書出版では、個別最適な学びの充実を図る工夫が施されています。光村図書出版3年下 P135をご覧ください。下の欄にある「②えらんで読み深めよう」に記載の通り、この単元では一人ひとりの興味に沿って学びが進められるよう、選択課題を設けたり考えるための観点を複数示したりしています。あわせて「③つたえ合いの例」では、協働的な学びを深めるため、話例とイラストを使って対話のイメージを示す工夫があります。

以上で、国語の調査結果の報告を終わります。

副委員長 目次が大事であると思っており、目次をみると領域が明確で光村がわかりやすい。東京書籍は個人的に見やすい。特に下段のQRコードでは、前年度の系列が出てきた。調査員としてそのあたりはどう判断したのか。

国語調査員 QRコードについて、東京書籍3年生下35ページをご覧ください。「もちもちの木」の単元において、QRコードを読み込むと「かさこじぞう」で学習したことばの力はなにかということが明確に示されており、学習と学習のつながりが非常にわかりやすくなっていますので、子供たちはすぐに学びを振り返ることができるようになっています。

A 委員 教育出版社において、最初の単元にアイスブレイクのような箇所があるが、実際に教員はアイスブレイクのようなことを行うのか。

国語調査員 教科書に示されているので、実際に取り扱っていきます。

【書写】

書写調査員 書写における使用教科用図書の選定に伴い、項目・観点に沿って、東京書籍、教育出版、

光村図書出版の3社の調査を行いましたので報告させていただきます。内容につきましては、「目標・内容の取扱い」「人権の取り扱い」「発達段階の考慮」「組織・配列」「学び方の工夫」「補充的な学習・発展的な学習」の6項目及びそれぞれの項目に応じた観点にて調査いたしました。

「目標・内容の取扱い」につきましては、3社とも学習指導要領に即した内容であり適切と言えます。

「人権の取り扱い」につきましても、どの出版社もすべての児童にとって使いやすくわかりやすいようにフォントの大きさ・色やレイアウトなどが配慮されています。「発達段階の考慮」につきましても、良い姿勢・良い鉛筆の持ち方を定着、習慣化できるような教材が設定されています。中でも教育出版では、1年生の7ページをご覧ください。鉛筆の持ち方を「ぱちぱち」「ころころ」「すうっ」「とん」という合言葉で示し、対話的な学びで持ち方を確認しています。教師と児童、また、児童間で対話を通して持ち方を確認することができます。これは、感覚的に鉛筆の持ち方を意識することができるようになっており、言葉の情報を的確に処理しにくい低学年の児童への考慮がなされています。また、東京書籍では1年生の4ページをご覧ください。右利き左利きの鉛筆の持ち方を同様に示し、どの児童もその場で手を重ねて確認できるよう配慮がなされています。

「組織・配列」につきましては、各学年の目標や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう、組織・配列されています。東京書籍では、1年生の23ページをご覧ください。生活に広げようにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ生活に活用できる書写力を育成するようにされています。教育出版では、4年生の29ページをご覧ください。理科のノートや算数のノートの書き方などの言語活動を通して、身に付けた書写力を「どの場面で」生かすことができるのかがすぐにわかる教材になっています。光村図書出版では、6年生の21ページをご覧ください。ここでは、「書写ブック」という1年生から6年生までに学習したことを日常生活に広げられるよう、書写の要素がまとめられています。

「学び方の工夫」につきましては、どの出版社も「令和の日本型学校教育」の実現を図ることができるような内容でした。書写といえば技能面に目を向けがちでただひたすらに書けば上達するものと考えられがちですが、自分の課題を発見し、解決する過程を歩む中で知識技能が身に付いてくるものだと考えています。また、QRコードも準備されておりどのデジタル教材も創意工夫されていました。例えば、東京書籍では4年生の教科書4.5ページをご覧ください。用具の準備や片付け方などQRコンテンツを用いて、何度でも確認することができます。また、光村図書出版では、3年生の31ページをご覧ください。タブレット端末でQRコードを読み取ると、上からと斜めからの映像で「木」という漢字のポイントを確認することができます。また、教育出版の「比較ツール」というデジタル教材は、自分で書いた文字を撮影し、その同じ画面内にお手本の文字と並べて比較することができます。児童の学びをより一層充実させるものとなっております。学びの成長実感を味わうためにICTを活用し、自らが書いた試し書きと手本とを比較することができるツールです。比較することで「どうすれば、手本のように書けるのだろう。」という問いが児童一人一人に生まれ、個別最適な学びを促すことができます。更に、この「比較ツール」をミライシードなどの学習支援ソフトと併用することで仲間と共有することができ、自己分析だけでなく、他者からの分析を受けることもできます。これは、対話的な学びや協働的な学びにもつながります。

「補充的な学習・発展的な学習」についても、3社とも学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程を振り返ったり、学んだことを生かしたりすることができるよ

うに配慮されています。

以上でございます。

委員長 書写は指導がワンパターンになりがちであるが、子供たちが興味・関心を持って、取り組めるような工夫、調査員がいいなと思うような工夫はありましたか。

書写調査員 教育出版社の比較ツールが子供たちにとって有効です。比較ツールを活用することで、自分の試し書きとお手本と比較することができます。自分の何が足りないかを確認して、分析しながら学びを進めることができます。

委員長 現在、活用しているミライシードでも活用できますか。

書写調査員 画面を撮影し、友達に共有して、アドバイスを受けることもできます。

【社会】

社会調査員 社会科の調査報告をさせていただきます。「目標・内容の取扱い」についてです。子どもが主体的に学び、調べる技能を身につけたり社会へのかかわり方を考えられるような工夫が、3社ともされています。3社の共通点としてまず「学び方コーナー」「調べ方コーナー」といったコーナーで、調べ方や考え方を身につけられるようになっています。他にも、「まとめる」時間が設定され、児童が考えてきたことをもとに社会に向けて自分ができることを考えられる時間が設けられています。教科書会社ごとの特徴ですが、特に教育出版では、多くの工夫がされていると感じています。「つかむ」で調べ方や考え方を使得って学習計画を立てるためのページの割合が多く構成されています。また、「まとめる」の時間に、児童が多角的に考え、公正に判断できるよう単元の学習内容にあった思考ツールを用いた表現活動が細かく設定されています。東京書籍はドラえもんのキャラクターを用いて社会科の見方・考え方の観点が明確に示されています。日本文教出版は、「さらに考えたい問題」として「まとめる」学習活動が取り入れられており、学習課題について話し合う時間が設定されています。「人権の取扱い」についてです。3社とも、様々な単元で世界との共生や基本的人権、生命の尊重について配慮された写真資料、歴史的事実や内容が載せられています。資料として、外国の人からの話や、バリアフリーの観点から考える内容、戦争や平和について深く考えられるような証言など、工夫されていました。教科書会社ごとの違いを見比べると、特に、教育出版で大きな工夫がされています。教育出版では、様々な人の話が男性と女性の偏りがなく取り上げられています。また、キャラクター構成が男女のちがいでなく、国籍や障がい等のちがいで見た立場も入っています。他の教科書会社ですが、東京書籍では、先ほどの人権への配慮とともに、教科書のキャラクターが男性3人、女性3人になるよう配慮されています。日本文教出版では、車いすの貸し出しや障がい者用の駐車場が取り上げられるなどの工夫がされています。「発達段階への配慮」についてです。どの出版社も、児童の発達段階に応じた分量と表現になるよう記述されています。また、資料も通し番号がついており、本文やキャラクターの発言との関連がわかりやすくなっています。教育出版は、児童が目にするのはたらく人の顔写真に、表情に注目したものが多く、ほかの2社とは異なります。また、6年生の歴史分野の白黒写真資料について、一部がカラー化されており、児童が当時の様子をとらえやすいよ

うになっています。東京書籍は、学習上必要な語句を「ことば」として本文の外側に取り上げ、その語句についての説明があります。日本文教出版は、キャラクターが児童の思考の流れを作る問いかけになるように工夫されています。「組織・配列」についてです。学習課題に対して、問題解決的な学習ができるよう3社ともに工夫して組織・配列されています。3社共に記述の仕方は違いますが、「つかむ（問題をつかむ）」「調べる（追究する）」「まとめる（解決する）」「いかす（つなげる・問題を掘り下げよりよい未来をつくる）」という、単元構成が採用されているからです。会社ごとの特徴です。東京書籍は上下巻に分かれています。上巻に「政治・国際理解」、下巻に「歴史」が設定されています。教育出版は、一巻のみで、「つかむ」の段階で「学習問題について予想して、学習計画を立てよう」という内容があり、調べ学習をよりスムーズに行うことができるよう工夫がされています。また授業時間ごとにつながっていることが分かるように紙面が配列されています。また、写真資料に関しても教育出版は独特な取り組みを行い、児童が効果的に学習できるよう工夫しています。また、日本文教出版は一巻のみで、各単元末にSDGsを取り上げるページが設定されています。「学び方の工夫」についてです。3社とも、QRコードを採用し、資料の充実が図られている。そのため、個別にタブレットで学習することができるように配慮されています。また、問題解決的な学習が成立するような紙面の展開がされており、個々の発見や生活経験をもとに協同的に学習課題に取り組むことができるように配慮されています。教科書会社ごとの差異です。東京書籍は、QRコードに力を入れており、児童が使うワークシートまでダウンロードできるようになっています。教育出版では「まとめる」の部分でクラゲチャートやピラミッドランキングのようなシンキングツールが紹介されており、思考を活性化し、表現しやすいように工夫されています。日本文教出版は、SDGsシールが巻末に設けられており、各単元の振り返りの中でSDGsの各目標の、どの部分を意識した取り組みになっているのか考えることができるようになっています。「補充的な学習・発展的な学習」についてです。どの出版社も、単元末に学習内容を振り返り、確実に学習を習得できる工夫がされている。また、発展的な学習に関してもQRコードやコラムなどを通じて、児童の新たな興味関心をくすぐる内容や、学んだことを生活に生かすことができるように配慮されている。東京書籍では、「ひろげる」のコーナーで学習したことをもとにさらに調べたいことや主な事例の代わりなどを示し、児童の興味によって深めるように工夫されています。教育出版は、「もっと知りたい」のコーナーでは地域や児童の興味によってさらに深めることができるようになっています。日本文教出版は、各単元とSDGsのつながりをコラムとして取り上げ、児童のさらなる興味を引き出そうとしています。

以上で、社会の報告を終わります。

B 委員 児童の思考の流れをつくる問いかけについて、授業を作る中で児童の思考の流れは非常に大事ですが、具体的にどんなことですか。他の出版社ではどんなことがありましたか。

社会調査員 児童の思考の流れについては、基本的にどの教科においても言えることではありますが、色々な知識や考え方は教師側から教え込むということよりも、社会科であれば、身の回りの色々な社会の出来事を子供たちに提示したときに、子供からの実際のつぶやきや気づきを引き出すことが大事であると考えています。思考の流れを引き出すキャラクターの吹き出しについては、キャラクターがどの教科書会社においても設定されており、キャラクターの吹き出しである程度の流れはできますが、吹き出しの量やフォントによる見易さに違いがあります。

B 委員 SDGSを取り上げられていますが、実際にはSDGSにつなぐ重要性はあるのか。

社会調査員 社会、生活、総合等に関わってSDGSを学ぶことが多いですが、3社ともSDGSの取り組みはなされています。社会科として、国民としての資質を育成することが目標となっています。特に、日本文教出版ではシールがあるので、子供の興味・関心は高まるという利点はあると思いますが、社会科の授業で大事にしていることは、子供が見つかる、調べる、発見する、練り上げるという活動を吹田では主にしているため、シールについては良し悪しであると考えます。

B 委員 東京書籍だけが、上下5・6年2冊ありますが、メリット、デメリットがあると思いますが、どのように考えていますか。

社会調査員 分冊にすると軽くなり、利便性があり、扱いやすくなるというメリットがあります。特に6年生では、歴史を学びながら公民を参考にしたり、公民を学びながら歴史に戻ったりとすることができます。1冊であれば、子供たちは振り返ることや必要な単元にとぶことができるというメリットもあります。また、分冊にすると単元構成を学校で変更することは難しくなるのではないかと思います。

D 委員 意見箱の意見を拝見すると、東京書籍に対しての否定的な意見が多く、教育出版を推すような意見が多いですが、東京書籍は社会の教科書にも君が代を載せているという意見もあるが、どのような見解をもっていますか。

社会調査員 指導要領に記されているため、全ての教科書に適切に君が代、国旗国歌について記載されていると受け取っています。調査員においては、どこかが突出していることや全くないということはありません。検定を受けた結果が反映されていると考えて調査しています。

【地図】

地図調査員 教科用図書「地図」についての調査報告をさせていただきます

「地図」では東京書籍と帝国書院の2社について調査を行いました。

目標内容の取扱いについては東京書籍、帝国書院ともに必要な内容を記載し、関連資料についても丁寧に取り上げられていました。特に大きな特徴が出ていたのは「ユニバーサルデザインに関する配慮について」「基本となる地図に関連した資料について」「主体的に取り組めるようにするための工夫について」の3点でした。

まず「ユニバーサルデザイン配慮について」ですが、東京書籍はフォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などを工夫されていました。特に巻末の統計資料は色分けが非常に分かりやすくなっています。一方、帝国書院はフォントや文字の大きさ等の見易さへの配慮と合わせて、一般的な地図資料とは別に「広く見渡す地図」として、記載する情報を絞って分かりやすくした資料を記載して、地図資料に初めて触れる児童や特別な支援の必要な児童への配慮が行われていました。

次に「基本となる地図に関連した資料について」です。東京書籍は歴史資料が多めに

掲載されており、6年生での歴史学習の際にも活用することができます。一方、帝国書院は一貫してSDGsと関連付けた資料が記載されており、総合的な学習の時間等で環境学習を行う際の参考資料として活用することができます。

最後に、「主体的に取り組めるようにするための工夫について」です。東京書籍では「ホップステップマップでジャンプ」という地理に関するクイズが1～3問程度あり、児童が興味を持って主体的に地図に触れることができるよう工夫されています。一方、帝国書院も「地図マスターへの道」というクイズが3問ずつ用意されており、巻末には解答した問題をスタンプラリーのように記録に残すことができるようになっており、児童が楽しみながら主体的に地図に触れられるよう工夫されています。以上3点が特にそれぞれの地図帳の特徴が表れていた部分になります。

以上でございます。

E 委員 調べるために地図帳を使うということが多いと思いますが、学び方や調べ方を学ぶという点において、補足の説明をお願いします。

地図調査員 東京書籍においては、情報量が非常に多く、少ないスペースに情報がつまっているため、地図が好きな児童や興味関心が高い児童には有効です。一方で、帝国書院はページに記載する情報を制限、整理したりしているため、どの児童でも使いやすいと感じます。加えて、中学年で触れる機会が多いと思いますが、初めて使う3・4年生が地図の約束、使い方のページにおいて、どういったものを調べていったらいいのかというようなものが丁寧に掲載されているので、地図学習の導入に適しているのではないかと考えます。

副委員長 地図は平面じゃないですか。でも、地球は丸い。QRコードで地球的な見方ができるようなものはありますか。

地図調査員 QRコードのデジタルコンテンツについては、両者ともに掲載されていて、活用は可能ですが、東京書籍は地図帳で掲載されている地図がタブレットで見れるようになっていて、大きくしたり小さくしたりすることは可能です。しかし、全体的にということについては、両者ともに機能はなく、他のサイトを活用することになります。

【算数】

算数調査員 5月12日、調査員事務説明会に参加し、調査活動、調査内容等の説明を受けました。私たち3名の調査員で、低学年・中学年・高学年の割り当てを決め、今後のスケジュールを立てました。5月25日、各自調査したことを持ち寄り、「1. 目標・内容の取扱い」、「2. 人権の取扱い」、「3. 発達段階の考慮」の3項目について意見を交流しました。特に、発行者独自の編集方針から生まれる特徴について、実際の教科書をもとに確認を行いました。6月2日には残り3項目、「4. 組織・配列」、「5. 学び方の工夫」、「6. 補充的な学習 発展的な学習」について意見を交流しました。6月5日には、それまで調査した6項目について意見を交流し、調査結果を整理しました。全体を通して見えてきた各発行者の特徴について、再度意見を交流しました。6月9日、調査員とりまとめ会に参加し、6月7日に行われた「意見交流会」で持ち寄られた意見を把握しました。それらを踏まえたうえで、総合的な観点から意見を交流し、その後、調査報告書にまとめました。

東京書籍については、ICT活用で学びを充実させる工夫が見られました。単元導入に

において日常の場面から算数の課題を見出す動画があり、また指導者用デジタルブックでは教科書のページ全部でなく、児童に見せたい箇所だけを限定して見せることもできます。6年生の「算数卒業旅行」など、算数を使った話題やパズルがあり、算数・数学の面白さや不思議さを感じられるようになっていきます。単元末に「つないでいこう算数の目」というページがあり、この単元での数学的な見方・考え方を明示しています。またキャラクター児童のセリフから、学習を価値づけたり、次の学習につなげたりすることで児童が成長を実感できるように配慮されています。

大日本図書については、教科書に登場するキャラクター児童のなかの二人を外国にルーツを持つ男女にしています。また割合の学習においては、野球ではなく、ソフトボールの打率で女性やマイナースポーツを取り上げるなど、広い視野から編集されています。かけ算・わり算などの図が、小学校6年間を通して系統的に、そして徐々に使いこなせるように配慮されています。インタビューのページでは、各界で活躍されている人の言葉を通して、今学んでいる算数が実際の社会の中で生かされていることが実感できます。

学校図書については、「考え方モンスター」で場面に応じた見方・考え方を見つけたり、見つけた考え方モンスターを振り返ったりする活動を通して、児童が算数の見方・考え方に親しみ、意欲につなげることができます。登場する人物の設定について、ジェンダーや人権が考慮されていて、男女の比率や役割、話し方に偏りがなく、着ている服の色なども固定的なイメージで区別することのないように配慮されています。単元の導入で「?を発見」のページがあり、身近な疑問から考えを深めていけるように構成されています。問題文からそれをまず絵や図に変換し、問われていることを捉えさせ、それから式に移っています。問題解決の過程を大切に扱っています。中学年の児童が苦手意識を持ちやすい「わり算」が、スパイラルに学習できるように、1学期に「割り切れるわり算」、2学期に「あまりのあるわり算」を学習するようになっていきます。忘れたころにもう一度復習できる良さがあり、この時期の児童の実態に合っています。1年生からすべての単元に補充問題があり、量も豊富であるため、個に応じた指導がしやすいです。

教育出版については、単元の導入で、学校の日常の活動や遊びといった身近な題材から、算数を使う場面に気づかせる問題設定になっており、目的意識を持って数学的活動に取り組めます。身近な題材だけに、児童の言語活動が活発に行われることが期待されます。巻末に「学びのマップ」のページがあり、学年を超えて既習事項を振り返ることができるようになっています。写真や絵が多くて親しみやすく、説明もシンプルで問われていることのイメージがしやすく、児童に問題解決を促すように工夫されています。

啓林館については、5年生の『面積』で「三角形の面積」を学習してから「平行四辺形の面積」をしたり、6年生の『場合の数』で「組み合わせ」を学習してから「並べ方」をしたりするなど、他の発行者とは逆の指導順序になっており、他とは違う編集方針で一貫しています。1年生最初の「すたあと ぶつく」は、別冊になっていて算数ブロックが置きやすかったり、数字が書き込みやすかったりする利点があります。

日本文教出版については、QRコードに、「動かす」や「見る」など見出しがついていて、コンテンツの種類が児童にもわかるようになっていきます。また、プログラミングのページでは他の発行者では見られないような高度な課題もあり、児童の挑戦意欲を引き出しています。社会科の町探検等、日常生活や他の教科の学習内容との関連づけがあり、算数の学びを活用する視点が持てるようになっていきます。巻末の「算数マイトライ」では、「しっかりチェック」、「ぐっとチャレンジ」、「もっとジャンプ」の3段階の難易度の問題があり、各自の習熟度に応じて、選択して取り組めるようになっていきます。

以上で説明を終わります。

F 委員 主体的、対話的で深い学びの視点を持っていると思いますが、基礎・基本と思考ツール、系統的な学びについて工夫があれば教えてください。

算数調査員 全発行者において、学習指導要領に沿った編集が十分なされています。特に、基礎・基本に関しては、補充問題が充実していることとして、学校図書が優れていると感じました。思考ツールというか、算数の見方・考え方が児童に見やすい形で繰り返し提示されている教科書は、指導する教員にとっても使いやすいものであるという点で見れば、学校図書、東京書籍、大日本図書が優れていると感じました。系統性については、学校図書、東京書籍、大日本図書は図式化するにあたり、学年が上がるにつれて、徐々に慣れ親しんでいくということで系統性に十分配慮されていると捉えています。

E 委員 東京書籍の説明では、児童が成長を実感できるように配慮されているとありますが、東京書籍以外に、自分の成長を実感することができるものはありますか。

算数調査員 特に算数が苦手と思っている子供に対しては、つまずきやすいところを明示したり、気を付けることを再度示したりするなど、学び直しができるということについては、学校図書では、単元の終わりにあるので、指導する側にとっても使いやすいものになっています。

【理科】

理科調査員 理科の調査結果を報告します。

5つの会社の教科書を調査いたしました。各社とも、随所に工夫があり、それぞれに力を入れた点が見てとれました。

「目標・内容の取扱い」についてですが、東京書籍が実験内容と結果を別ページ立てにしており、結果例も示してありました。また、単元末には「理科の世界」という関連コラムのページが豊富にあり、自然を愛する心情を喚起する工夫がされています。

「人権の取扱い」についてですが、各社とも視覚的に見やすいユニバーサルデザインフォントを用いていました。また、防災やSDGSについては特に、大日本図書が6年生の巻末を中心に詳しく取り上げて学びに生かしやすくしてありました。

「発達段階の考慮」については、学年に応じた表現や分量の配慮がされており、太字や色抜きなどの工夫もされていました。学校図書では特に、大判の写真や詳しいイラストを資料に使っており、子どもをひきつける工夫がされています。

「組織・配列」については、単元配列については各社ごとに差異はありますが概ね、学校行事や気候を配慮した配列になっていると感じました。ページの構成については教育出版がページごとの情報量をゆったりとしたレイアウトにしてあり、子どもにとっての見易さを大切にされた工夫がされていました。

「学び方の工夫」についてですが理科の見方・考え方を育てるための配慮がどの教科書でもされていました。特に啓林館では見方・考え方に関わる語句に下線を入れてありました。巻末でも「理科の見方・考え方」の解説ページが設けられており、理科の考え方を定着させることを大切にしているのを感じました。

最後に「補充的な学習・発展的な学習」については、どの教科書でも理科の学習に興味をわいたり、知識の定着ができるように工夫されていました。また、QRコードから動画が閲覧できるようになっていました。その中で、啓林館では、コンピューターでの

試験に対応する教材として、巻末に「ワクビット」が載せられていました。

以上で、理科の調査報告とさせていただきます。

E 委員 子どもの反応を見ていると虫が嫌という子もいるが、理解嫌いの児童にとってハードルを下げるような工夫は各社ありましたか。

理科調査員 観察していく視点は各社工夫があるので、教師がその視点を捉えて指導すると嫌いは変わらないかもしれませんが、面白いなと思えるようになるのではないかと思います。また、各社キャラクターが設定され、キャラクターがポイントも示しているの、嫌いという部分は薄まるのではないかと思います。どの会社がということは非常に言いにくいです。

A 委員 実験をすることも多いと思うが、教科書の大きさの違いがあり、使いやすいサイズはありますか。

委員長 吹田市では一人1台端末があり、理科室でもインターネットが使える環境になっているので、机の上をすっきりさせるという意味でいうと、東京書籍は大判で写真は見やすいが、タブレット等とのスペースの兼ね合いを考えると、啓林館はあえて大きさを抑えて、その代わりにQRコンテンツで写真を見れるようにする工夫があります。

C 委員 私も理科、虫が嫌いであったが、実験ですごいと思うことが多く、身近なところでの気づきがあることが楽しかった記憶があり、子供にも楽しく理科を学んでほしいということから、友達同士で考えて話し合うワークにつなげられるようなものや、実社会に目を向けることができるようなコンテンツ等に工夫がある出版社はありましたか。

理科調査員 子どもが課題に対して、興味・関心を持ちやすく工夫しているなど感じたのは啓林館で、発展的な学びに強いものは、東京書籍であると感じました。

【生活】

生活調査員 令和6年度使用教科用図書、種目「生活科」の調査結果について報告します
調査したすべての教科書会社において、生活科の目標を達成するために、すべての観点において、適切な内容が取り上げられています。6つの項目ごとに調査した中で、特により効果が見受けられると思われる調査結果を中心にお伝えします。

まず、項目「目標・内容の取扱い」です。『東京書籍』は、自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や、生活上必要な技能について適切な内容が取りあげられています。例えば、「かつどうべんりてちょう」や「かんさつずかん」を手がかりにして、習慣や技能等を身に付けられるように配慮されています。また、「デジタルいきものずかん」や「くらし図かん」などのQRコンテンツも充実しています。

二つ目、「人権の取扱い」ですが、調査したすべての教科書会社において、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人等、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われているなど、文章、写真、挿絵、図、資料などが人権尊重の観点から適切に取り扱われており、突出した部分は見受けられませんでした。

三つ目、「発達段階の考慮」ですが、文章の記述や分量について着目し、調査を行いました。その結果、2つの出版会社について、あげさせていただきます。1つ目が『啓林館』

です。下巻に掲載されている「とび出せ！町のたんけんたい」では、インタビューをしに行くまでの準備やオンラインでのやり取り、振り返りなど、写真や地図、イラストを効果的に活用し、視覚的にわかりやすいよう配慮されています。2つ目は『教育出版』です。教科書全体を通して「いぐら」、「はてな」の2つのオリジナルキャラクターが掲載され、学習單元ごとに重要なポイントや疑問点、気を付ける点などを吹き出しで話させています。また、実際の子どもの様子も写真で掲載され、それらにも吹き出しがつけられています。これらの工夫を活用することによって、文章だけでなくキャラクターたちの一言や写真から、学習のポイントがイメージしやすく配慮されています。

四つ目、「配列・配慮」について、ここでは「スタートカリキュラム」について着目し、2つの出版社についてあげさせていただきます。1つ目は『学校図書』です。「はじまるよ しょうがっこう」のページでは、小学校生活の風景をたくさんの写真で紹介し、小学校生活の様子がイメージしやすいよう工夫されています。また、困ったときには先生や上級生、友だちに相談する様子もイラストで描かれており、安心して学校生活を送ることができるよう配慮されています。2つ目は『大日本図書』です。上巻の始めのページでは「たのしいよ 1ねんせい」と題して、幼稚園や保育園での過ごし方を振り返らせながら、小学校の学習の様子や、小学校にある場所、生き物などを知らせ、幼児期の生活と比較することができるように工夫されています。そして、新しいこともありつつ、これまでと変わらないこともたくさんあることを知らせることで、スムーズに小学校生活に移行することができるよう配慮されています。

五つ目、「学び方の工夫」について、ここでは、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実について、特にICTを活用しながら、個々の思考・活動がどのように深められるよう工夫されているかに重点をおいて調べました。まず『東京書籍』ですが「目標・内容の取り扱い」の報告でもあったように、QRコンテンツが充実しており、子ども一人ひとりが知りたいことを自分で調べることができます。また、多様な表現方法（例えば、2年生の野菜の発表では、絵や写真でまとめるものや動作化、すごろく、劇化、ICTを使ったもの）が例示されていて、自分に合った方法で学びを深めることができるよう工夫されています。また、協働的な学びの場面でも比べ合ったり、振り返ったりするのにタブレットで撮った写真や動画を使ったり、地域の人との交流をオンラインで行うなど効果的なICTの活用方法等も掲載されています。次に『啓林館』ですが、単元の導入が単元扉とわくわくタイムの4ページで構成されていて、「なんだろう」「やってみよう」など1人ひとりが思いや願いを持って主体的に学習に取り組むことができるように工夫されています。また、話し合いや発表の場面がイラストで具体的に掲載されており、とてもイメージしやすくなっています。活動に応じた机のレイアウトになっていたり、板書の例も豊富なので、教師にとっても授業作りの参考になるようにも工夫されています。

最後に六つ目、「補充的な学習・発展的な学習」について、ここでは、資料やコラムなどについて着目しました。『光村図書出版』は、別冊資料が充実しています。別冊「はるのなかまたち」は、観察する際、教科書から取り外し、持ち運んで活用することができます。他の教科書はデジタルですので、教科書を持ち運ぶか、iPadを持ち運ぶこととなります。また、絵本作家のヨシタケシンスケ氏がイラストを担当されていて、いろいろな子どもたちが、いろいろなことをつぶやいている姿がたくさん描かれていて、どんどんページを捲りたくなる教科書になっています。次に『啓林館』ですが、デジタル図鑑である「デジタルたんけんブック」や、「学びウェブ」などのデジタルコンテンツがとても充実しています。紙面でも、学研の図鑑編集部とコラボして作成した「びっくり図鑑」には、たくさんの写真が掲載されており、子どもがワクワクするようなページになっています。また、巻

末には「がくしゅうずかん」では、タブレットの使い方や、観察カードの書き方等、学習のヒントになるような資料がたくさん掲載されています。

以上六つの項目・観点に着目し、調べた結果です。よろしくお願いいたします。

委員長 生活科は座学よりも活動メインとなる特徴を持っている教科であるが、活動につながるような良さがある教科書会社はありますか。

生活調査員 活動について、まず啓林館です。単元全体を通して、3つに分けられています。導入のページで2ページ、次のページからは活動様子を示したページ、その後には学習をしたことをさらに深めるための振り返りにつながる構成になっています。もう一社は東京書籍です。啓林館同様に、単元の内容に合わせて色分けされています。また、「！」で導入のページや活動のページを提示し、「？」でさらに深めるよう問いかけがあります。最終の振り返りでは、ハートマークを載せており、振り返りを行えるようになっています。

C 委員 生活ではどんなことを学んで、成長していくための教科なのですか。

生活調査員 生活科は様々な教科の基盤になる教科であると考えており、1年生では体験が大事であり、自分たちの生活の中から様々な体験をして学んでいきます。アサガオを育て、多くの種が取れるので、種の数を数えるためには算数の学習につながったり、色水づくりでは図工につながったり、アサガオのいいところを伝える際には、話し方や聞き方など国語にもつながったりしています。自分の生活をより豊かにしていく教科が生活であり、また、様々な教科とつなげながら学んでいく教科であると考えています。

C 委員 様々な教科と関連しているということであるが、教員が活用しやすいものはどの出版社ですか。

生活調査員 どの会社もどの教科につながるということは書いていますが、啓林館においては、学習図鑑というものがあり、保健や理科、国語、総合等、3年生以降の学習につながる力をつけられるようになっています。教育出版であれば、学びのポケットが巻末にあり、国語、道徳、特活等の教科が書かれており、教科での力をつけることができると子供たちにもわかりやすく示されています。

【音楽】

音楽調査員 調査の結果を報告します。

1. 「目標・内容の取扱い」についてです。教育出版は巻頭（学習マップ）で、1年間の学習がわかるよう番号がふられており、写真やイラストも本文のページと同じものを使用し、内容がわかりやすいように示されています。教育芸術社は、巻頭（学習マップ）において、1年間の見通しがもてるよう、歌唱・器楽・鑑賞・創作において、繰り返し学びながら学年で習得すべて内容が取り上げられています。

2. 「人権の取扱い」についてです。どちらの出版社も人権尊重の観点から多様な個性を求める配慮がなされています。

3. 「発達段階の考慮」についてです。教育出版社は、他教科横断教材として、歌詞で親しめるようになっており、音楽づくりの活動例の資料が豊富です。教育芸術社は、学習

を手伝うキャラクターや吹き出しにより、充実した学習ができる設定となっています。

4. 「組織・配列」についてです。教育出版社は、中高学年では「ショートタイムラーニング」にして、全学年英語の歌を取り扱っています。教育芸術社は、裏表紙に各地にわたるお祭りや郷土芸能が掲載されています。

5. 「学びの工夫」についてです。教育出版は、「まなびナビ」のコーナーでは子どもたち自らの学びの中で気づきや学ぶ楽しさを発見することを大切にしています。教育芸術社は、主体的な学びを促すキャラクターの吹き出しや、表情やしぐさにより子どもたちの興味・関心を引き出すように工夫しています。

6. 「補助的な学習・発展的な学習」についてです。教育出版社は、巻末の「音楽のまとめ」「音楽を表すいろいろな言葉」「音符や休符、記号など」があり、随時、関連事項を振り返ることができるように配慮されています。教育芸術社は、巻末に「ふりかえりのページ」「いろいろな音符・休符・記号」を掲載し、1年間の学習を見通したり、6年間の学習も見通しをもって、随時関連事項を振り返ったりできるように配慮されています。

以上です。

副委員長 3点あります。1点目は報告書の人権の取扱いについて、教育芸術社に記載されている特別支援教育の観点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにされているという記述について、詳しく教えてください。

2点目は、基本的に専科が指導するが、担任が指導する場合もあるため、音楽が苦手な先生にとってはどちらが指導しやすいですか。

3点目は、子供が大きくなった時により多様で豊かな心につながるようなものがあれば教えてください。

音楽調査員 1点目について、教科書にフリガナがふってあります。共通教材の「富士山」で比較すると、一社はメロディーに縦書きで書かれているが、もう一社はフレーズにスペースがあり、歌いやすいようになっています。漢字表記についても、習っていない漢字をひらがなで書いてある場合や漢字にふりがなを振って、字から読み取れることを大切にしています。

音楽調査員 2点目について、担任の先生でも授業がすすめやすい点について、教育芸術社は各ページに題材のねらいがはっきり載っています。また、キャラクターの吹き出しで何を学んだらいいのか、深めたらいいのかを記載しているため、担任の先生から子供たちに問いかけて、子供の主体的な学びにつなげることができるため、担任の先生も授業がしやすいと思います。

音楽調査員 3点目について、どちらの教科書も高学年の教科書には子供たちの将来や生活につながるページを設けています。

副委員長 音符の表記は教育出版社の方が大きくなっていて、見やすいと思いますが、いかがでしょうか。

音楽調査員 音符だけでなく、歌詞も比べました。どちらの教科書会社もユニバーサルフォント、ユニバーサルカラーで子供たちにとってわかりやすくなっていますが、文字だけを見たら、教育芸術社の文字が見やすいと思いました。

【図画工作】

図工調査員 項目3の「発達段階の考慮」について、2社の特徴をお話しさせていただきます。

一つ目は鑑賞活動についてお話しします。開隆堂出版社の教科書では、「小さな美術館」「みんなのギャラリー」などのコーナーに、鑑賞の対象となる絵画や立体作品、身近な自然の写真が掲載されておりました。また、鑑賞活動については、タブレット端末から、鑑賞ノートを活用して、児童が感じたことや思ったことを伝えあい、見方や感じ方を深めることができるように考慮されていると感じました。一方の日本文教出版社の教科書では、「教科書美術館」「図工の見方」「アートカードを楽しもう」「みんなの図工ギャラリー」などのコーナーに鑑賞の対象となる身近な作品の写真が掲載されているほか、QRコードから作品についての動画を見ることができました。また、相互鑑賞については、題材ごとに吹き出しや鑑賞のヒントマークを使って視点が示されており、児童が感じたことや思ったことを伝えあい、見方や感じ方を深めることができるように、考慮されていると感じました。

二つ目は共通事項の扱いについてお話しします。開隆堂出版社の教科書では、対象の形や色、材質などの特徴を捉え、自由に表現する様子が紹介されており、自分の感覚で捉えて、表現することにつながるイメージを持ちやすくなるよう考慮されているように感じました。一方の日本文教出版社の教科書では、対象の色や形、材質等の特徴を捉え、様々な感覚を使って、材料や用具に触れることができるように構成されているほか、題材のリード文によって表現することにつながるイメージを持ちやすくなるよう考慮されているように感じました。

続きまして、項目5「学び方の工夫」について、2社の特徴をお話しさせていただきます。ここでは「個性を生かした学習活動」についてお話しします。開隆堂出版社の教科書では、児童の個性に合わせて、多様な表現ができるように、多くの作品が掲載されております。また、吹き出しにより互いを認め、それぞれの発想が生かされるように工夫されていると感じました。一方の日本文教出版社の教科書では、児童が個性に合わせて、多様な表現ができるように、多くの作品が掲載されております。また、作り方の手順などが掲載され、自身をもって主体的に活動できるように工夫されていると感じました。

最後に項目6の「補充的な学習・発展的な学習」について、2社の特徴をお話しさせていただきます。ここでは「資料やコラム」についてお話しします。開隆堂出版社の教科書では、「つながる造形」「みんなのギャラリー」などのコーナーにおいて、図画工作科を通じた全国各地の伝統文化や工芸について紹介されており、学習を振り返ることや、学習を広げ深めていくことができるように配置されていると感じました。また、QRコードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができます。一方の日本文教出版社の教科書では「広がる図工」のコーナーにおいて、地域を活性化するという目的をもって日本各地で制作された図工作品や、平和や防災の観点をもった作品や芸術作品が紹介されており、他教科と結びつけた学習を振り返ったり、広げ深めたりすることができるように配置されていると感じました。また、QRコードのあるページでは、開隆堂出版社と同様に学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができます。

以上です。

F 委員 技術の積み重ねるための工夫や発想の広がりについて、工夫されているところはありますか。また、教師の指導への配慮や図工が苦手な教師への手立て等があれば教えてください。

図工調査員 技術の積み上げについては教科書が低中高とそれぞれあり、発達段階に応じた作品が例示されています。また、どちらの出版社も巻末の資料において、発達段階に応じた道具の活用が記載されていますが、開隆堂出版社よりも日本文教出版の方がより丁寧に道具の説明がされている印象があります。

2点目の発想の広がりについては、どちらも作品の例が大きく見やすく提示されていることから子供たちはゴールをイメージしながら作品を作ることができます。写真の例示についても、日本文教出版の方が制作過程がより丁寧に写真が載っています。また、制作過程における子供たちのつぶやきも多数掲載されていますが、日本文教出版の方が多くあります。QRコードについて、開隆堂出版では、道具の使い方が写真で掲載されており、日本文教出版は道具を使っている様子を動画としてみるができるため、図工が苦手な先生の手助けになるのではないかと考えます。また、日本文教出版では、QRコードを読み取ることで、完成作品の例が多数見ることができるため、子供たちの大きな助けになると思います。

D 委員 特別支援や障がい者の方々を取り上げている教材があれば教えてください。

図工調査員 どちらの教科書にも他の教科とのつながりを持つように記載されており、作品をつくるだけでなく、色々な教科や人と人がつながるように提示されている印象があります。

A 委員 完成作品が多いこと、制作過程が多いことは大きな違いだと思いますが、完成形があると正解が示されているように感じるが、図工においては、教えていく中で考える過程を大事にしているという認識でいいですか。

図工調査員 図工においては、テーマはあるが子供たちそれぞれが作品を作っていきますが、教科書を見ながら、作品を作っていくわけではないので、ゴールのイメージを持つために教科書を使えば問題ありません。ゴールに加えて、制作過程がある日本文教出版の方が教職員にとっても手助けになると思います。

【家庭】

家庭調査員 調査の結果を報告します。

1「目標・内容の取扱い」についてです。家庭科は専科の先生も減っており、また、5・6年のみの教科のため、経験が少ない先生がいることもあり、初任者等経験が少ない先生でも簡単に扱うことができる、使いやすさが必要となっています。東京書籍は実践的、体験的な活動を促すように、座学が多くなりがちなところにも活動が設定されていて、活動を通して、思考力、判断力、表現力が育成されるようになっています。夏休み前に学習したことを家庭で実践できるように、生活の課題を見つけ、解決に取り組む「生活を変えるチャンス」が設定されています。開隆堂については、題材の最後には、「ふり返ろう」「生活に生かそう」が設定されています。

2「人権の取扱い」についてです。東京書籍、開隆堂どちらも「どれもかけがえのない家族であること」が指導しやすい配慮があり、児童の自己肯定感を高めることができるようになっています。

3「発達段階の考慮」について、東京書籍は初めての実習が安心して安全に行えるように、巻末資料「いつも確かめよう」には、教科書に手を乗せて練習できる実寸大写真が掲載されています。また、児童の手や体に配慮し、作業する手のアップや姿勢の写真などを教科書全体に豊富に取り入れています。また、左利きの例も取り上げています。

4「組織・配列」については、東京書籍は学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて、系統的に配列されています。開隆堂は「住生活と環境」を組み合わせた、「整理整頓で快適に」や、「消費生活と環境」を組み合わせた、「生活を支える物やお金」など地域や学校の実態に合わせた使い方ができるようになっています。

5「学び方の工夫」について、東京書籍は実践的体験的な活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動など、様々な言語活動ができるように工夫されています。また、QRコンテンツが多数あり、よりわかりやすく技能や手順を、各題材のステップに合わせたコンテンツを見ながら学習を進めることができます。また、動画コンテンツを活用し、限られた授業時間を有効に生かすことができます。開隆堂はQRコンテンツが多数あり、各題材のステップに合わせたコンテンツを見ながら学習をより深めることができます。

6「補充的な学習・発展的な学習」について、東京書籍は消費者教育の観点から「持続可能な社会の構築」に重点を置き、独立した大題材として扱われ、消費者としての基本的な知識や態度が身に付くように配慮されています。開隆堂はSDGsの視点、消費者教育の視点を取り入れ題材を展開しています。

以上です。

委員長 苦手な児童に対して、配慮された教科書の工夫はありますか。

家庭調査員 巻末の原寸大の写真について、東京書籍は左利きの児童でも道具を使い分けるよう写真が載せられており、特徴となっています。

A 委員 コロナ禍の3年間では実習等ができなかったが、教科書の内容の変化や指導の変化はありますか。

家庭調査員 実習だけでなく、教具をともに使用することが難しかったです。調理では工程を個別に行い、全ての児童に経験させることが必要であるため、一人分の材料が記載されているところが特徴として見られました。

【保健】

保健調査員 「保健」では、6つの観点について報告させていただきます。

1つ目の観点「体育科の目標を達成するために適切な内容が取り上げられているか」について報告します。

報告書No.1をご覧ください。知識・技能については、東京書籍・大日本図書は、空欄に言葉を入れて学習をまとめる形式のページ構成が各単元でなされており、学習内容の振り返り欄と併せて、知識の定着を図るための内容が充実しています。思考・判断・表現については、東京書籍・学研が、課題解決に向けた話し合い活動、さらに、学習したことをもとにさらに考え話し合う活動が仕組まれている点で、印象に残ります。生活実践への態度については、中でも大日本図書が、学習したことを生活の中で、どう実践していくかを考える活動が多く設定されており、充実していると感じます。

次に、報告書No.2をご覧ください。2つ目の観点「人権尊重の観点から、文章・写真・

挿絵・図・資料などが適切に取り扱われているか」についてお話しします。各社人権への配慮がされておりますが、違いがあったところについてお伝えします。表紙や挿絵に登場する人のイラストについて、肌の色や車いすなど、多様性に配慮されていると感じるのは、東京書籍・光文書院・学研でした。思春期を迎える子どもたちが抱えやすいさまざまな不安や悩みなど心の安全に関しては、中でも光文書院・学研が、対処の方法やより良い関係作りなど、こだわりを感じるページ構成になっています。ユニバーサルデザインの観点では、東京書籍・大日本図書・大修館書店・光文書院は、単語の途中ではなく、文節の切れ目での改行がされており、内容を読み取りやすくなっています。

私からは、まず文章記述や分量、写真や図表の資料が、発達段階に応じたものであったかという点についてお話しします。報告書No.3をご覧ください。概ね、どの教科書会社も簡潔な文章表現であり、文章量も発達段階に応じたものでした。東京書籍や学研は、写真資料等のサイズが大きく設定されていて、それに伴い、必要最小限の文章量に推敲されていると感じました。また、大修館書店は、イラストなどの資料は多く活用していますが、余白を多く設けていると感じました。各社違った切り口で情報過多を避け、読み疲れの少ない内容にしています。

次に、教科横断的な視点を含んだ、効果的な指導が行われるような単元配列やページ構成になっているかという点についてお話しします。報告書No.4をご覧ください。まず各社に共通して、他教科や他学年の内容と今の授業内容がどうつながっているかという視点が、「はってん」や「学年 教科名」などのラベルで分かりやすく示されていました。その中でも、東京書籍は章の冒頭に関係するSDGsの主な目標や、章全体を通しての他教科とのつながりがまとめて掲載されていて、視野を広く持って、学習に取り組めるようになっていました。また学研も、単元はじめに関連のある学習や、仕事への情報へアクセスできるQRコードを示し、学習展開の支援としています。光文書院は、2、3時間分の学習内容の後に、「広げよう・深めよう」と題した発展的な内容を含む資料ページを配しています。本時と資料を結ぶリンクも多かったです。こうした、広い視点を持てるような構成になっている会社は好印象を持ちました。また、ページ構成に注目すると、東京書籍は、導入から調べる・深めるからまとめ、という流れで1節を構成しています。項目ごとに巧みにページをまたぐことで、主体的な学びにつながる指導がしやすいと感じました。また、東京書籍と光文書院は、書き込み欄が豊富で、教科書がそのまま学びの軌跡となる構成になっています。このように教科書1冊で、授業が完結する点も評価できます。

私からは、「保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。」ということ、「学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。」ということについて報告いたします。報告書No.5をご覧ください。まず「保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。」についてですが、どの教科書会社においても学び方のプロセスや体験的な活動が示されており、児童が興味・関心を持ちながら主体的・対話的に学習できるように工夫されています。中でも東京書籍や大日本図書、学研は、QRコードによる資料が豊富に用意されており、個別最適な学習ができるよう配慮されています。特に、東京書籍は動画、ワークシート、読み物など資料の多様さという点で際立っていました。

報告書No.6をご覧ください。次に、「学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。」についてですが、各社共通して学習したことを振り返ることができるスペースが設けられています。また、資料やコラムにより、発展的な内容や実生活とのつながりを感じられる内容が取り扱われています。光文書院においては、児童にとって憧れとなる著名人のインタビュー記事等が豊富に掲載されており、児童の興味・関心を惹きつけることができると考えます。東京書籍においては、AEDの使用について「ASUKAモデル」という、実際に起こった話が掲載されており、児童がより臨場感を持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。

報告は以上です。

B 委員 LGBTQの視点で、児童に配慮された教科書はありましたか。

保健調査員 各社取り扱っていますが、東京書籍では、4つの性という形で取扱いをしています。性に関しての悩みについて、具体的な資料や相談窓口の記載も多くの教科書で取り上げられています。

D 委員 薬物の危険性等について、より詳細に情報が記載された教科書はありますか。

保健調査員 大日本図書、大修館書店、光文書院、学研には、校内や外部機関等における相談する窓口が記載されています。

【特別の教科 道徳】

道徳調査員 調査の結果について報告します。

東京書籍の特徴として、道徳的判断力や道徳的心情を育てることを意図した教材が、バランスよく配置されています。また、低学年では、教材本文を文節ごとに分かち書きされるとともに、文節で改行され、全ての児童が読みやすくなるように配慮されています。さらに、漢字は、読解に時間をかけずに「考え、議論する道徳」が実現できるよう、未習の可能性のある当該学年の配当漢字は使用せず、原則として当該学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用されています。教材については、全学年と各学年段階の「重点指導内容項目」が設定されており、複数の教材が掲載されています。特に重点が置かれている「生命の尊さ」は、各学年で3教材ずつ掲載されています。

教育出版の特徴として、最優先課題である「いじめ」や「情報モラル」については、全学年で重点テーマとして位置づけ、ユニット化して手厚く指導できるようにされています。また、教材の挿絵などは、服装や持ち物、色などに関して性差の偏りがないように配慮されていたり、現代的な課題でもあるLGBTQについて考えるきっかけとなる教材が設けられているところも良いと感じました。全学年をとおして、児童が無理なく学習できるよう、児童の発達段階に即した内容と文章量の教材が配列されていたり、低学年では、言葉のまとまりがわかりやすく読み誤りが生じにくいよう、分かち書きと文節改行で表されているところも特徴です。

光村図書の特徴として、教材に工夫があります。昔話を教材化した読み物、等身大の児童が登場する読み物、伝記等で知られる先人の生き方や、現在活躍する人物の子どもの頃の葛藤を扱った読み物等、児童の心を捉える多様な教材がバランスよく配されています。また、「いじめ問題」「情報モラル」などの現代的な課題も取り上げられており、児童が自分自身に引き寄せながら興味・関心を持って学ぶことのできる教材が選定されているところも光村図書の特徴といえます。他の教科書と同様に、カラーユニバーサルデザインへの配慮として、色覚特性を持つ児童が学習に支障を来すことがないように、配慮がなされています。さらに、文字の大きさや配置、写真や絵の色遣いや配置の他、枠組みを使ったデザイン処理などの配慮がなされていたり、特に第1・2学年では、児童の読みのつまづきを軽減できるよう、行頭に助詞が来ないように配慮されていたりします。

日本文教出版文の特徴として、各巻とも、魅力ある教材がふんだんに取り上げられ、児童の興味・関心を引きつけるだけでなく、人間であれば誰もが持っている弱さと、それを乗り越えようとする強さや気高さについて考えることができる教材が取り上げられています。また、児童が登場人物の生き方に深く共感し、誇りある生き方や夢や希望のある生き方を考えることができる教材が取り上げられている点も特徴の一つです。また、人権

への配慮として、発達の段階に合わせ、各学年、各教材の文章量が適切になるように配慮されていたり、必要な箇所に必要な挿絵が掲載されています。問題解決的な学習方法や体験的な学習を用いると効果的と考えられる教材には、教材の後に「ぐっと深める」を挿入して、問題を掴む活動や考える活動を促す発問等が示されたり、具体的な活動例や留意点などが示されたりして、工夫が凝らされています。

光文書院の特徴として、終末では「まとめよう」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」を確認し、学習内容をまとめる活動を通し、学んだ道徳的価値を自分との関わりの中で捉え、発展させることができるよう配慮されています。また、現代的な課題であるいじめの防止や安全の確保といった課題については、児童にとって喫緊の問題であると捉え、各内容項目の教材において、直接的・間接的にいじめについて、子ども自身の問題として捉えられるような教材が選定されています。さらに全学年に重点主題として設置し、「いじめを生まない心」を主眼に、児童自らがいじめの防止などに主体的に関わる態度を育めるように配慮されています。他の教科書会社と同様に、フォントは、大きく、見やすい書体（ユニバーサルフォント）が使用されています。また、見出しや本文は、児童の立場に立って、平易で理解しやすく記述されています。レイアウトの工夫により、学習展開を考慮して、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっており、見やすく、分かりやすくされている点が特徴といえます。さらに、いじめを生まない心について、多面的・多角的な視点から自分との関わりで考えを深めるために、様々な内容項目の教材が用意されています。教材には、様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材等、児童が興味・関心を持って学べるように、心を引き込む教材が多数掲載されているところも特徴の一つです。

以上です。

副 委 員 多様性とインクルージョンについて長けている教科書はありますか。また、45分の授業で終えることができるような仕組みになっていますか。

道徳調査員 多様性については、どの教科書会社においても扱っています。学研においては、深めよう心のパスポートという箇所があり、多面的・多角的に学んで道徳的価値を追求することを重視しています。また、読み取りに時間をかけないよう、どの教科書会社においても、2年生であれば、1年生の漢字を使用するように工夫されています。

C 委 員 子供が考えを深めていきやすい問いかけの表現が工夫されている出版社はありましたか。

道徳調査員 各出版社に大きな差はなく、どの出版社においても児童の興味・関心を引くように工夫されています。

【外国語】

外国語調査員 令和6年度使用教科用図書 外国語の調査結果について報告させていただきます。
1～6の項目について観点別に調査を行いました。各観点別に特に優れていたと感じるものをいくつかピックアップしてお伝えさせていただきます。
1. 「目標・内容の取扱い」については、どの出版社も日本のことについて紹介するも

のから始まり、世界の国々の文化や暮らしについて紹介する題材へと展開しており、日本と様々な国の言語や文化の違いに気づき、理解を深める内容となっていました。特に、光村図書は児童と同世代の子どもたちが交流しながら成長していくというストーリーで構成されており、児童の身近で実際に起こりうる場面や状況が設定されていて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする意識が芽生えるものでした。また、教育出版では、世界の国々を紹介するうえで、学校や家庭学習といった、児童の身近な暮らしにかかわる場面を中心として取り上げられていました。その中でも、レストランや道案内等の特有の表現が使われる場面もバランスよく配置されているため、楽しみながらコミュニケーションを図ることで体験的に身に付いていくものとなっていました。

2. 「人権の取扱い」については、どの出版社もユニバーサルデザインを意識したフォントや、色使いで印字されていました。教育出版は、海外に暮らす同年代の子どもの声や学校生活等を素材として盛り込んだコーナーがあり、世界を身近に感じることができるよう紙面となっていました。また、表紙を始めとしたイラストには、多様性を尊重したものが描かれています。光村図書は世界12か国の子どもたちの生活の様子を継続的に取り上げるなどして、他国への関心を高められるような工夫がありました。

3. 「内容の程度」については、光村図書は5年生で自分、他者、地域、6年生では、日本、世界、将来というように段階的なテーマで構成されていて、発達段階に即して興味・関心を持ちながら学習を進められるようになっていきます。また、新出言語材料に関しても、無理なく進められる分量となっていました。表現方法も5年生では、I like～. 6年生では、I'm good at～. や I'm interested in～. などと段階的に語彙を増やしていくような内容でした。教育出版も光村図書と同じような形で、5年生で日本全国47都道府県、6年生で世界の名所や名物についてと段階的に広がっていく内容でした。また、シンプルな紙面とわかりやすい単元構成で、子どもたちも無理なく取り組める分量でした。

4. 「組織・配列」については、教育出版は、「Let's watch」や「Let's listen」で聞く活動、「Activity」で基本的なやり取り、「Final Activity」で発表や発展的なやり取りとともに、「読む」「書く」活動も取り入れられており、子どもたちの意欲を高める構成となっていました。光村図書はどの単元も「Hop」「Step 1, 2」「Jump」という段階を踏んで学習が計画されていました。また繰り返し「聞く」「話す」活動が取り入れられていることで、無理なく少しずつ学びを進めていくことができる内容でした。

5. 「創意工夫」に関しては、どの出版社もペアワークやグループワークを取り入れた主体的で対話的な学びが進められるものとなっていました。特に、教育出版のものはデジタル教材での動画が、世界の国の子どもたちが実際に出演するものとなっていて、実際のやりとりを見ることができると子どもたちが引き付けられるものとなっていました。また、5, 6年どちらも冒頭に「Let's start Together」というページがあり、アルファベットや物の名前を中心として、4年生までに学習したことを振り返ることができる工夫がありました。

6. 「補充的な学習・発展的な学習」としては、教育出版は6年生の Lesson 6～8で小学校の思い出、将来の夢、中学校で楽しみたい学校行事や部活動について、発表したり尋ねあったりする活動があり、中学校への接続を意識した内容となっていました。三省堂のデジタル教科書には単語ゲームがあり、すきま時間などに意欲的に取り組み、単語の習得を手助けするものとなりそうでした。

以上です。

F 委員 主体的に興味を持って学ぶ工夫について特徴的なもの、また、子音やイントネーションについて配慮、評価につながる工夫があれば教えてください。

外国語調査員 英語の必然性や役に立つと実感できるものとして、教育出版における道案内やレストランでの会話については主体的な活動につながる内容になっています。また、どの教科書会社においても、単元と単元の隙間やページが記載されている箇所にフォニックスが記載されています。似ている子音同士がつながって授業ができるように工夫されています。評価については、どの出版社においてもCan doリストが記載されており、子供たち自身で、どこまでできたかを振り返ることができるようになっています。

事務局 ありがとうございました。以上が調査員からの報告でございます。

長時間ありがとうございました。それでは、もう一度、次回以降の委員会についての説明と依頼事項を申し上げます。次回、6月26日月曜日14時から、第3回選定委員会を、さんくす三番館第一会議室にて行います。教科書について各選定委員よりご意見をいただくことにしています。当日は教育委員会への答申書、いわゆる具申書の案を合わせて事務局より提示させていただきます。報告書、具申書と合わせて協議いただき、その協議内容をもとに、加筆修正された答申書（案）を7月3日月曜日10時から、さんくす三番館教育委員室にて開催されます第4回選定委員会にて確認いただき、その後、教育委員会に答申する運びになります。

次に、ご依頼事項でございます。本日以降、選定委員の皆様にも調査報告書をもとに教科書を具体的に検討いただくこととなりますが、男女共同参画センター、山田駅前図書館、さんくす図書館及び拠点校の小学校等で行っております教科書展示会をご活用いただければと思っております。見本本につきましては、教育委員室にも、展示しておりますので事前にご連絡いただければ閲覧可能です。なお、展示会場での閲覧の際は、閲覧者名簿にお名前をお書きいただきますようお願いいたします。

2つ目は、本日お渡ししました「調査報告書」の取扱いについてでございます。この「調査報告書」は7月3日の第4回の選定委員会で返却いただきますが、それまでの間、教科書内容の研究・検討にご活用いただくとともに、厳重に保管いただきますようお願いいたします。当然のことながら、今回の教科書採択終了まで選定委員会の内部資料でございます。外部の方への提供は厳禁ですので、よろしくようお願いいたします。

それでは、以上をもちまして第2回選定委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。